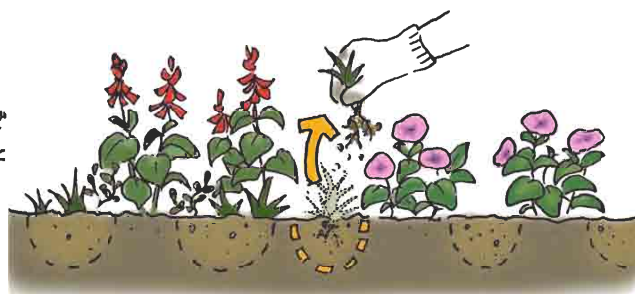


## 2 除草

雑草は土の栄養分を吸い取ってしまうほか、花壇の見栄えを悪くしてしまうので、根ごと取り除きます。

なるべく小さなうちに取りましょう

雨が降った後など  
土が湿っていると  
取りやすいです



## 3 追肥（ついひ、おいごえ）

追肥を行うことで、より多くの花を長期間楽しむ事ができます。肥料切れを起こさないように苗を植えてから1～2ヶ月後程度を目安にしますが、最初に与えている肥料の量にもよるので、植物の状態を見て調整しましょう。

固形の緩効性肥料、液体肥料などを使用します。容器・包装の説明書きを確認しましょう。



# 苗を植えた後の管理

## 4 花がら摘み

咲き終わった花はエネルギーを種づくりに使い始めます。こうなると植物は老化が始まり花が咲かなくなってしまうので、種をつける前に花がらを摘みます。花がらを一度摘んでしまっても一年草は次々と花を咲かせるので、こまめに行いましょう。



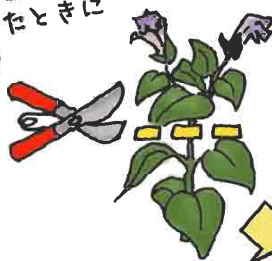
サルビアの  
ような長い  
花穂は花穂  
ごと切り落  
とします



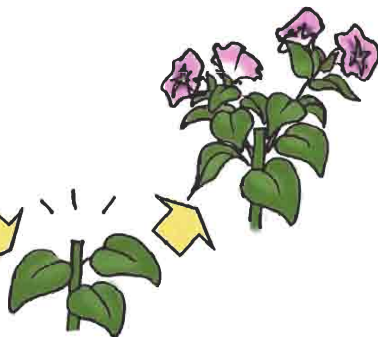
## 5 切り戻し

花苗は植えたままにしておくのと、いつの間にか姿が乱れたり、間伸びしたりするので、切り戻しをして苗の若返りを行います。

開花が一段落したときや  
姿が乱れてきたときに  
行いましょう



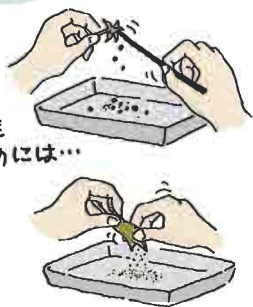
また花を咲かせます！



## 6 種をとる

花が咲き終わり、褐色になってきたら花茎から切り取って日陰で乾かし、種をとります。気温が下がると種の熟すスピードが落ちるので、9月中旬から花がら摘みをやめて、10月末までに種をとって終わります。それ以降にできた種は未熟なことが多く、発芽率が低くなります。

自分で育てた花を  
来年も楽しむためには…



種の保存は乾燥と低温が必要です。  
茶筒や紙袋などに入れて冷暗所（冷  
蔵庫など）に保存しましょう。



## 7 花が咲き終わった後の後始末

花が咲き終わった一年草は根ごと掘り起こし、土を落として処分します。

病害虫などを防ぐために、根ごと取り除きます。花壇の土は全体的に掘り返しておきましょう。



種まき

発芽・生育

開花

種とり

花が終わった後の管理

# 花壇のデザイン

ここでは、より花を楽しむ方法として「花壇のデザイン」のポイントを紹介합니다。

## 「花壇のデザイン」のポイント

### 1. 『敷地の状況を考える』

- 対象となる花壇をどこから見るのか、日の当たり方は、風の通り道は、等の条件を考えましょう。
- 歩道の植樹帯などに植える場合は、家庭の庭と違って維持管理の頻度も少なく、土壌条件や排気ガス、街路樹による日陰など条件が悪い場合が多いため、丈夫な性質の花苗を選ばなければ上手に育たないことがあります。

### 2. 『季節感を演出する』

植え込み全体が1年間を通して楽しめるようにしましょう。花の色、開花時期、大きさ、性質、葉の形、質感等を上手に組み合わせる事がポイントです。

#### 『春花壇』

パンジーやチューリップ等の球根類を中心とした寒さに強い種類を選びましょう。

#### 『夏花壇』

最もポピュラーな1年草類や多くの宿根草を使って彩りを楽しめる花壇をつくりましょう。

#### 『秋花壇』

斑入りの葉ものや葉牡丹等を選んで花壇をつくると、落ち着いた感じを演出できます。



### 3. 『彩りを考える』

目的（テーマ）に沿って、花壇の彩りを考えましょう。彩りを考える上で重要な事は次の4点です。

- 色の統一感や色の強弱を考える
- ポイントを配置する
- 日なたと日陰の見え方を考える
- 花と一緒に葉色も考える

単色 ひとまとめる



類似色 を組み合わせる



コントラスト を  
活かす



### 4. 『組み合わせを考える』

「植物の組み合わせ」として、次の4点がポイントとして挙げられます。

1年草と宿根草  
・球根類の組合  
わせ

それぞれの花の特徴を活かして季節感のある華やかな花壇づくりを行います。

立体感のある  
組み合わせ

生長速度や植込み条件等を考えて組み合わせます。植樹帯の場合は街路樹とのバランスや植栽場所を良く考えましょう。

質感を活かした組  
合わせ

形状や質感の違う植物を組み合わせるとメリハリのある花壇をつくりましょう。

相性の良い  
組み合わせ

花葉の形態や開花時期などが似ている植物を組み合わせます。

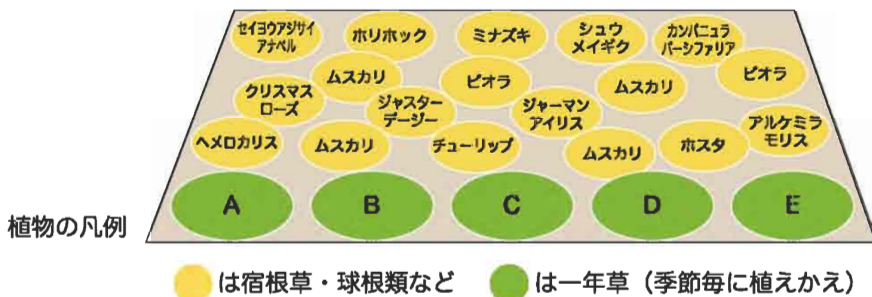
# 花壇のデザイン

## デザイン例の紹介

29ページでポイントとして挙げた4つの組み合わせ、

- 1年草と宿根草・球根類の組み合わせ
- 立体感のある組み合わせ
- 質感やアクセントの組み合わせ
- 相性の良い組み合わせ

を反映させた季節ごとの花壇のデザイン例を紹介します。



### 『春花壇』

春花壇のポイントは淡い色合いの小花の組合せです。宿根草の芽吹きของやわらかい緑に映える、春らしく優しい印象になります。



A : パンジー B : デージー C : ワシレナグサ D : アリッサム E : パンジー

## 『夏花壇』

夏花壇のポイントは、青系と黄色系の反対色の花色中心の組み合わせです。夏らしく元気でメリハリのある印象になります。



A: マリーゴールド B: スプレーギク C: サルビア  
ファリナセア D: インパチエンズ E: サルビア  
コクネシア

## 『秋花壇』

秋花壇のポイントは、暖色系の花色とカラーリーフの組み合わせです。秋らしく落ち着いた印象になります。



A: 葉ボタン B: ジニア C: コリウス&  
シロタエギク D: ナスタチウム E: 葉ボタン



# 宿根草の紹介

「宿根草」とは冬に地上部が枯れても、地下茎や根が地中に残り、翌年また葉を広げてくる草花です。一年草と違い、毎年植え替える必要がありません。

本州では越冬できても、北海道では越冬できないものもあるので、植栽するときはよく確認しましょう。

## ラミウム



- 草丈：20~50cm
- 花の色：ピンク、白
- 開花期：5~6月
- ふやし方：株分け、挿し芽
- 特徴：寒さ・乾燥に強く、日陰でも育つグランドカバープランツ（地被植物）です。

## ビンカ・ミノール



- 草丈：10cm程度
- 花の色：紫
- 開花期：5~6月
- ふやし方：挿し木
- 特徴：日陰でも育てることができ、耐寒性も強いグランドカバープランツです。

## セラスチウム



- 草丈：15~25cm
- 花の色：白
- 開花期：5~6月
- ふやし方：種まき、株分け
- 特徴：種まきでも簡単に育てられ、株もよくふえて広がります。白い小さな花が密に咲き、シルバーリーフ（白っぽいグレイ）の葉も楽しめます。

## ジャーマンアイリス



- 草丈：70cm~
- 花の色：いろいろな色があります
- 開花期：5月下旬~6月
- ふやし方：株分け
- 特徴：北海道の気候に適しており育てやすいですが3~4年に1回は株分けをし、植え替えましょう。